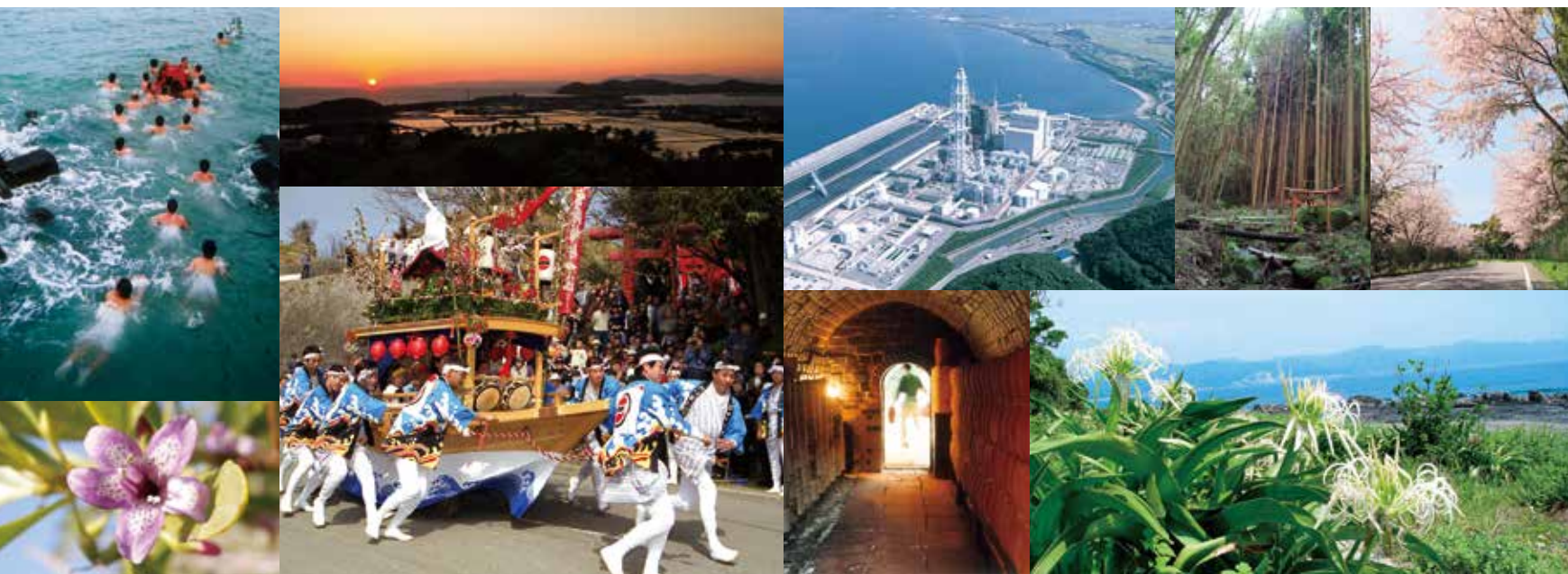




ゆるり、 海と、空と、出逢いがある。 苓北時間

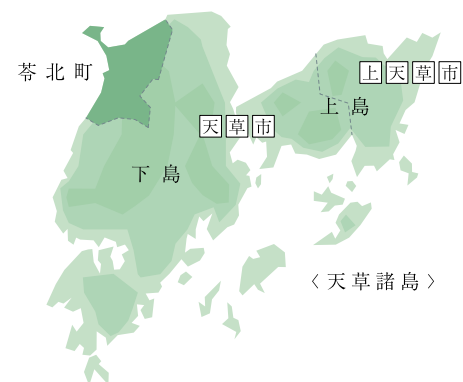
苓北町

[https:// reihoku- kumamoto.jp/](https://reihoku-kumamoto.jp/)



C O N T E N T S

アクセスマップ・時刻表など	苓北のガイド	ぐるり天草図記録	苓北に泊まる	苓北の味と伝統	苓北を遊ぶ	苓北の自然・景観	苓北の昔話	苓北の春夏秋冬	苓北の歴史・文学
P34	P33	P31	P28	P25	P22	P19	P17	P11	P3



〈苓北町のおはなし〉

かつて天草全島は「苓州」と呼ばれていました。「苓」とは「甘草(あまくさ)」を意味し、苓州の北部に位置することから「苓北」と名付けられました。自然あふれた半島は、幕末の儒学者・頼山陽が「雲か山か吳か越か」と詠んだ美しい天草灘を臨んでいます

写真協力／天草フォトクラブ 小林健浩

みなとオアシス富岡フェア

富岡港一帯で開催される春の催し。

富岡港船客待合所きずなステーションを主会場に、富岡港一帯で各種イベントを開催。イルカウォッチング・富岡周遊クルージング、海鮮バーベキュー、富岡街歩き等多彩なイベント及びマルシェ等の物産・飲食販売を実施しています。

所／富岡港船客待合所周辺
期／5月上旬



天竺・ツツジ祭り

約4500本の花が咲き誇る春山を楽しみながらウォーキングしよう。

天草下島地域の最高峰・天竺山(538.35m)に、霧島ツツジ等約4500本を植栽。一面に紅、紫、白の花が咲き誇るツツジの名所として、春山を楽しむことができる。長崎県野母半島や、晴天であれば遠くの阿蘇の噴煙も見える360度の大パノラマは必見。

所／天竺山頂
期／4月下旬



山開き、山頂では地元の物産展も行われる

天草西海岸春の窯元めぐり

お目当ての窯元を訪ねて陶器の魅力にふれる休日を。

全国シェアの8割を占めるほど天草西海岸に豊富な天草陶石。真っ白な肌に深い呉須の藍をのせた伝統の器から、新進作家の斬新なデザインまで、天草陶器を楽しむ人気のイベントだ。全国から陶芸通が足を運ぶほどの品揃えとリーズナブルな価格で、お気に入りの逸品を手に入れよう。



上) 通常よりも2～5割安く販売される器の数々に、足を止めて見入る人も多い
左) 絵付け体験や手びねり体験もできる

所／苓北町・天草市(天草町)の窯元
期／4月末～5月のゴールデンウィーク



遠く海原を眺めながら
薄紅色の桜街道をゆく



苓北町の春は、山並みを彩るサクラとツツジ！そして、陶芸通が全国から集う「天草西海岸春の窯元めぐり」が開催されます。本渡方面へと延びる緩やかな広域農道では、サクラ並木が薄紅色のアーチを描き、深緑の山合いをツツジが鮮やかな文様に染め上げたら、春も本番。点在する天草陶器の窯元では、窯元めぐりに向けて創作に力が入ります。伝統と創作の逸品を探してみませんか。



天竺天の川





花火大会

苓北じゃつと祭

心躍る真夏の祭典がやってくる
じゃつと、みんなで楽しもう。

「じゃつと祭」の語源は「じゃる」「じゃつと」「じゃつとさい」という苓北町の方言。「そうだ」「本当だ」という意味があり、“地域住民がこぞって、「じゃつとさい(そうだ)」と一丸となって突き進もう」という願いが込められている。

所／富岡湾一円
期／7月中旬～下旬



苓北の夏

富岡海水浴場

透きとおる海に抱かれたい
見渡せばコバルトブルー。

柔らかな砂質と海水の透明度に優れ、真夏は海面がコバルトブルーに輝く。約300mのビーチ内は波が大変穏やかで、小さな子ども連れでも安心して楽しめる。

環境省選定「快水浴場百選」

所／苓北町富岡字権現山地先
期／7月中旬～8月下旬

MAP ①



料金／無料 ※シャワー施設2分100円
設／男女更衣室、男女シャワー室、男女トイレ、東屋5カ所

白岩崎キャンプ場

要予約

童心に返って磯遊び
水平線に沈む夕日に感動！

「富岡海水浴場」に隣接するキャンプ場で、天草陶石の白岩が海岸一帯に突き出た絶景。岩礁は磯遊びに最適。天草灘への落陽は感動的な美しさだ。

予約／苓北町観光案内所
☎0969-31-1136
所／苓北町富岡字烏帽子崎
開／通年

MAP ②



料金／＜宿泊＞(1泊2日)中学生以上300円、小学生以下100円＜テント使用料＞(1泊2日)880円、＜テント持ち込み＞500円＜炊飯器具＞1個 100円 IN・OUT/13:00・11:00

町が熱気に包まれる。
「苓北じゃつと祭」
苓北町に熱い夏の幕開けを告げるのは、町民総参加による夏の一大イベント「苓北じゃつと祭」。
中でも人々の心を躍らせる「天草苓北ペーロン大会」は、約340年前に長崎から伝えられたといわれ、打ち鳴らす銅鑼と太鼓の音が鳴り響く白熱したレースが繰り広げられます。



苓北町の夏を彩る鮮やかな花々。町のあちこちでヒマワリやハイビスカスたちに出会うと、なんだか元気になれる



天草西海岸秋の窯元めぐり

窯元めぐりを楽しもう! こだわりの器に出逢う旅。



伝統の手わざから生まれる陶磁器と窯元とのふれあい待っている

陶磁器の原料・天草陶石は、品質・産出量ともに日本一を誇る。その産地にも優れた陶磁器があることを観光客などに知ってもらおうと始まった「天草西海岸秋の窯元めぐり」。苓北町の内田皿山焼窯元などでは、窯出しがあり、出来上がったばかりの陶磁器で、あたりは熱気

に包まれる。期間中、新作を中心に展示・即売が行われ、いずれも割引価格で販売。また、絵付けや手びねり体験、抽選で陶器が当たるスタンプラリーなども楽しめる。

所／苓北町、天草市(天草町)の窯元
期／10月初旬

福岡城お城まつり

苓北町の秋の祭典

福岡城一帯で行われ2日間に渡って開催される。1日目はイルカウォッチングやオルレ福岡まち歩き、海鮮バーベキュー等の参加型イベントが行われ、2日目には郷土芸能などが出演するステージイベントや物産展、マルシェ等のイベントが行われる。

所／福岡城周辺
期／10月中旬～下旬



苓北夕やけマラソン

夕日は、エネルギーに

城下町の雰囲気を感じる福岡の町中を走り抜け、福岡城を目指した後、天草西海岸を南へ。折り返し後は、天草西海岸から吹く海風を背にゴールへ向かいます。比較的平坦で初心者の方でも走りやすいコースとなっています。

【部門：ハーフ・10km・4km】

所／農村運動広場スタート・フィニッシュ 期／11月上旬



天竺・天の川遊記登山

苓北町に「天竺」があった！
歩く楽しさを満喫しよう。

下島で最高峰の「天竺」健康登山を実施。地元特産物の展示販売なども行われる。

☎0969-35-1111

問／苓北町観光協会
(苓北町役場商工観光課内)

期／11月23日



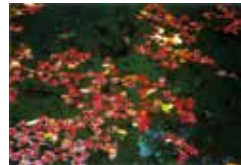
下島最高峰の「天竺」で、山の自然観察を楽しもう



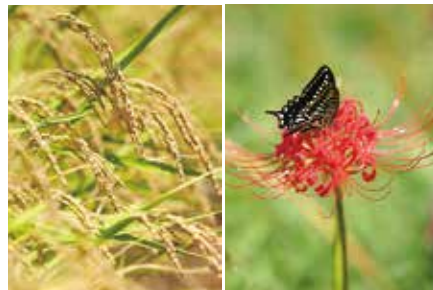
窯の中で焼き上がったタコツボ

静かな山里で黄金色に色づいた稲穂が重たく頭を垂れるころ、苓北町にも秋が訪れます。棚田のあぜ道には彼岸花(ヒガンバナ)が萌えて、深まる季節を教えてください。そんな静かな里の風景も苓北町の美しさなのです。

そのころ、天草の窯元は大忙し。「天草西海岸秋の窯元めぐり」が近づいてどの窯もお客様を迎え入れる準備で賑わいます。



(上) 窯の中で並ぶ位置やその日の気温・湿度などでも、全く違う表情を見せる陶器。窯出しは楽しみでもあり、緊張の一瞬だという (右下) 秋から初春にむけたモチーフの作品は、陶芸まつりの楽しみのひとつ



八坂神社裸まつり

締め込み一つで海に分け入る
厳寒の冬の男祭り。

400年の歴史を持つ上津深江八坂神社の「裸まつり」。無病息災を祈って、毎年1月20日に若者の担ぐ朱神輿が勇壮に厳寒の海を渡る。

所／苓北町上津深江
期／1月20日



吹きすさぶ寒風の中を走り抜ける朱神輿が、海へと飛び込む瞬間は圧巻

富岡稲荷神社初午大祭

初春の無病息災を祈る
伝統の初午大祭。

江戸時代、天草の政治・経済・文化の中心であった富岡城下に受け継がれる伝統行事。富岡稲荷神社の旧暦2月の初午は、毎年多くの参加者でにぎわっている。

所／苓北町富岡(富岡稲荷神社内)
期／旧暦2月の初午



寒い季節に咲く花々には凛とした美しさがある。ハマジンショウ、ツバキ、スイセンなど、一足早い春を運んでくれる



中を練り歩きます。
また、例年1月20日の大寒の日に行われるのは「裸まつり」。ホラ貝の音が鳴り響くと、締め込み姿の男たちが凍てつく海に飛び込んでいく。その勇壮な姿に、拍手と声援が上ります。



五穀豊穰・無病息災
暮らしの中に祭りがある

海風が冬の匂いを運んでくる苓北町には、寒さを吹き飛ばすような熱い祭りがあります。旧暦2月の初午は「富岡稲荷神社初午大祭」。富岡稲荷神社をメイン会場に、男たちが川舟を引き回し、神輿を担いで富岡の町



富岡稲荷神社初午大祭・蛇踊り



レタス畑に広がる防蟻灯

R E I H O K U E V E N T C A L E N D A R

- 10月 天草西海岸秋の窯元めぐり
新作展示即売会、絵付け体験、工場見学、楽しい企画満載！
富岡城お城まつり
苓北町秋の一大イベント！
九州オルレフェア天草・苓北コース
秋のオルレフェア開催

- 11月 天竺・天の川西遊記登山
山の魅力いっぱい！の下天草最高峰「天竺」への健康登山と天の川の晩秋を満喫。地元特産品の販売もあり。
苓北タヤけマラソン
天草灘に沈む夕日を背にゴールを目指しましょう！

- 4月 天竺・ツツジ祭り
ツツジが咲き誇る花の世界へ

- 5月 天草西海岸春の窯元めぐり
苓北の春を満喫する器と花の世界へ
みなとオアシス富岡フェア
富岡港周辺で様々な催しを開催

- 7月 苓北じゃっと祭
夏だ！海だ！イベントだ！苓北最大の祭り

- 1月 八坂神社裸まつり
朱塗りの神輿が大寒の海を渡る

- 2月 九州オルレフェア天草・苓北コース
春のオルレフェア開催

- 3月 富岡稲荷神社初午大祭
伝統芸能を後世へつなげ。地域の思い、熱く燃える

苓北の歴史・文学

島原・天草一揆を超えて

かつて苓北町は、数百年にわたり天草の中心として栄えました。1205年からおよそ400年もの間、志岐氏が統治する時代が続く、戦国時代末期には志岐麟泉が領主となつて全盛期を迎えます。その後、徳川時代には唐津藩によって支配され、肥前唐津藩の寺沢志摩守広高によって慶長7年(1602年)頃に富岡城が築かれました。

寛永14年(1637年)「島原・天草一揆」で、富岡城は幕府側の拠点として一揆勢から攻撃を受けました。必死の守りで落城を免れたことが、乱の早期終結と後の徳川幕府の安定をもたらしたといわれています。

乱後、山崎甲斐守家治の領地となり、築城の名手と謳われた山崎氏は大規模な修築および拡張を行い、現在見られる富岡城の形が完成しました。山崎氏の後に天草は天領となり、初代代官・鈴木重成の時代を迎えます。後に再び私領となり戸田忠

昌が城主となるものの、戸田氏の領地替えの際に富岡城は破城。再び天領となつて、天草の行政の中心となりました。

現在、富岡城の本丸跡に「熊本県富岡ビジターセンター」を開設。さらに櫓・高麗門・白塀等が復元され、当時の面影を偲ぶことができます。

平成26年には新たに長屋・東西角櫓を復元し、平成27年7月、長屋跡に「苓北町歴史資料館」がオープンしました。



富岡城跡から望む袋湾

苓北町歴史資料館 MAP 3

富岡城に関する歴史や、島原・天草一揆の解説や展示を行います。また、観光情報の提供や特産物の紹介も行っています。

問／苓北町歴史資料館

料／大人(高校生以上)100円・小人(中学生以下)無料

営／午前9時～午後5時 ※最終入館は午後4時30分まで

休／木曜日(祝日の場合は翌日)

所／〒863-2507 熊本県天草郡苓北町富岡字本丸2245-11

TEL・FAX 0969-35-0712

富岡城・熊本県富岡ビジターセンター MAP 3

雲仙天草国立公園の内容を紹介し、天草地域の魅力ある自然景観、歴史・文化、環境などについての情報を発信している。

問／熊本県富岡ビジターセンター 料／無料

営／午前9時～午後5時 ※最終入館は午後4時45分まで

休／水曜日(祝日の場合は翌日)

所／〒863-2507 熊本県天草郡苓北町富岡字本丸2245-15

TEL・FAX 0969-35-0170



鈴木重成

鈴木正三

勝海舟

頼山陽



林芙美子文学碑

林芙美子ゆかりの元岡野屋旅館には、入口に文学碑があり、当時の面影をしのぶ部屋も残されている。



頼山陽の詩碑

頼山陽の詩碑が佇む公園は人々の憩いの場所だ



丘の上に眠る
キリシタンたち

天草四郎乗船の地

MAP 4

1637年11月、天草四郎を総大将とする一揆勢は、堅固な富岡城を攻め落せず、一揆勢は島原へ渡る為ここから乗船したという。この碑は、自然石を舟に、十字架を帆柱に見立ててデザインされている。

問／苓北町役場商工観光課
TEL 0969-35-1111

苓北の歴史・文学

海に囲まれた天草は、わが国でもいち早くキリスト教を受け入れ、南蛮文化の黄金期を迎えました。しかし、徳川幕府によって「キリシタン禁令」が発令されると、キリシタンに対する厳しい弾圧と苛酷な年貢の取り立てが始まり、ついに寛永14年（1637年）「島原・天草一揆」が勃発します。

天草四郎時貞を大将とする一揆勢は、緒戦での勝利に勢いづいて富岡城を攻撃しましたが、堅固な富岡城はついに落城せず。やむなく一揆勢は苓北の坂瀬川

から海を渡り、島原・原城へ向かいました。

大阪での任期を終えた鈴木重成公が、この地を訪れるときに「島原・天草一揆」で信仰を失った人々のために、大阪から移したという「一佛二十五菩薩」



文学に登場する 苓北の町

歴史が静かに息づく苓北町には、多くの文豪たちが訪れています。海に落ちる夕陽を眺めながら、有名な「泊三・天草洋」を詠んだ幕末の儒学者・頼山陽。富岡での一夜をテーマに「天草灘」を記した林芙美子。文学碑には「旅に寝てのびのびと見る枕かな」という句が刻まれています。

明治40年（1907年）の夏、与謝野鉄幹と北原白秋ら5人が東京から九州・天草に降り立ち、「五足の靴」の旅を始めたの

も、この苓北でした。旅の途中、白秋のふるさとである福岡の柳川に立ち寄り、長崎から暴風の荒海を、船で天草の富岡へ渡ります。上陸後、天草西海岸沿いを旅しながら、紀行文を書きつつっています。そして5人は大江天主堂で、"ばあてるさん"ことガルニエ神父に会い、秘蔵の「クルス」を見せてもらい、ついに旅の目的を果たしました。

この旅の思い出は、木下杢太郎の詩集「天草組」、北原白秋「邪宗門」などにも記されています。

鈴木重成公供養碑

MAP 9

天草の歴史にこの人あり
復興に尽力した領主を偲ぶ。

「島原・天草一揆」後に、天領となった天草の初代代官で、天草の復興に努力した鈴木重成の功を顕彰するために、家臣達が建立したものだ。

町指定文化財

☎0969-35-1111

問／苓北町役場商工観光課・苓北町教育委員会
所／苓北町富岡字新富地内



天草の民を救うために年貢を軽減するよう幕府に進言したという名代官だった

トルレス神父の記念広場

MAP 22

志岐麟泉公と
トルレス神父を顕彰。

志岐城主・志岐麟泉公は、キリスト教の日本布教長であったトルレス神父に来島を要請しアルメイダ神父が派遣された志岐は、天草で最初のキリスト教伝来地となりました。キリスト教は志岐を中心に天草全土へ広がり『天草はキリシタンの島』と呼ばれるようになりました。

☎0969-35-1111

問／苓北町役場商工観光課・苓北町教育委員会
所／苓北町志岐字城下



苓北町志岐は天草で最初のキリスト教伝来地である

富岡吉利支丹供養碑（千人塚）

MAP 10

キリシタンの無念を弔う
悲しい歴史の軌跡を訪ねる。

正保4年(1647年)、鈴木重成の手によって「島原・天草一揆」で討ち死にしたキリシタン3,300人あまりもの首が葬られ、その供養碑を建てて霊を慰めたものだといわれている。

国(文部科学省)指定史跡

☎0969-35-1111

問／苓北町役場商工観光課・苓北町教育委員会
所／苓北町富岡字首塚地内



別名「千人塚」と呼ばれる供養碑は、今も静かに佇んでいる

アダム荒川殉教公園

MAP 11

信仰を胸に闘ったアダム荒川は
人々の心を励まし続けた。

志岐教会からガルシア・ガルセス神父が追放され、代わりに教会を守っていたアダム荒川は、3ヶ月にもわたる迫害にもめげず信仰を守りとおす態度をとり続けたため、斬首の刑に処されることとなった。キリスト教の迫害で処刑されたアダム荒川を含む日本人殉教者188人を、2007年にローマ法王ベネディクト十六世が栄誉ある「福者」に列することを正式に承認された。

☎0969-35-1111

問／苓北町役場商工観光課・苓北町教育委員会
所／苓北町富岡字中ノ浦



1614年6月5日早朝、刑場で首を切られて殉教した。その地には静かに慰霊の碑が佇んでいる

志岐城跡

MAP 5



城主・麟泉が薩摩出水に退いた後は廃墟となり、昔日の面影もわずかとなった

南蛮文化華やかかなりし
かつての盛栄を偲ぶ。

中世期に「天草五人衆」と謳われた志岐氏の居城跡。志岐麟泉は天草で初めてキリスト教を導入後、1589年小西行長・加藤清正の連合軍に攻められた「天正の天草合戦」で敗れたとされる。現在、志岐城跡公園を整備し健康づくりの場・憩いの場として利用できる。

町指定文化財

☎0969-35-1111

問／苓北町役場商工観光課・苓北町教育委員会
所／苓北町志岐字城ノ平

古戦場仏木坂

MAP 6



我が家臣により誤って殺され、無念の死を遂げたという木山弾正の最期の地

いにしへの戦場に立ち
武将たちの思いにふれる。

天正17年(1589年)小西行長、加藤清正らが志岐城を攻めたとき、本戸城の客将・木山弾正らがそれを迎え撃った戦いの場に、碑が建てられている。

☎0969-35-1111

問／苓北町役場商工観光課・苓北町教育委員会
所／苓北町志岐字黒染(広域農道)

鎮道寺

MAP 7



「頼まれぬ世をば、経れども契りあれば、再びここに月をみるかな」と落書きが残る

勝海舟が訪れた印が残る
落書きに思いを込めて。

幕末から明治に活躍した勝海舟は、鎮道寺を2度にわたって訪れ、本堂の柱に落書きしたものが、今もそのままに残されている。境内には勝海舟宿泊記念碑がある。

☎0969-35-0045

所／苓北町富岡2452
営／8:30～17:00
※見学所要時間約30分、落書き見学は要予約
料／無料

国照寺

MAP 8



鈴木重成の保護の下に創建された国照寺。この庭園は、自然の美を巧みに生かした禅庭園で、天保9年(1838年)に完成した

天草の歴史を見守ってきた
古刹の庭園に癒されよう。

鈴木重成がキリシタン禁圧のために創建した天草四ヶ本寺のひとつ。国照寺には町指定文化財の「禅庭園」と「一佛二十五菩薩」がある。

町指定文化財

☎0969-35-0164

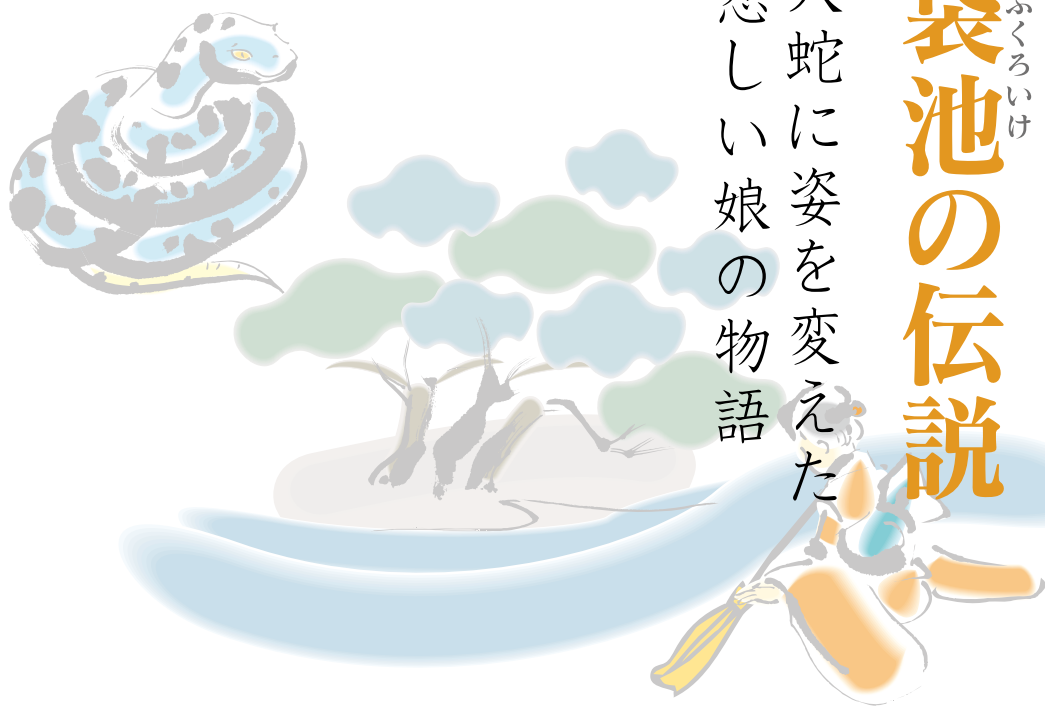
所／苓北町志岐字志国1360-1
営／8:30～17:00 ※見学所要時間約30分 料／無料

苓北の昔話

ふくろいけ

袋池の伝説

大蛇に姿を変えた 悲しい娘の物語



城山の南西のふもとにある袋池は、かつて福岡町の水源として重用されていました。深々と澄んだ水を湛えている袋池には、さまざまな伝説が語り継がれています。その中の一つをご紹介します。

昔、一軒の米屋に、美人と評判の一人娘がおりました。両親は娘に婿を探していましたが、「お金がない」とよい婿は迎えられない」と思い込み、寝る間も惜しんで働きました。

米を売るときは、「小さな枡（ます）」「買うときは「大きな枡」を使うというずるい商売で、だんだんお金持ちになつていきました。

やがて念願の婿を迎えるこ

かつて福岡城が佇んでいた小高い山を望む袋池。外敵から城を守る外堀の役割を果たしていたという。現在は「熊本県福岡ビジターセンター」が佇み、当時の面影が偲ばれる



池の周囲をぐるぐる廻り、そのまま池の底へ姿を消してしまいました。

それを聞いた娘の両親は「娘の幸せを願うあまりに、自分たちが悪いことをした報いだ」と、その罪を償うために祠（ほ

こら）を建てたということです。

今も湖畔に佇む「お池様」はその祠だといわれ、袋池に木の葉が一枚も浮いていないのは、娘がぼうきを手に水面に落ちた葉を掃いているからだ、と伝えられています。

苓北の方言

あいそんこいそんなか
＝にくらいしい
あっこいよう＝どうしよう
いさぎんよか＝手早い
いっちゃいくる＝落ちる
いっちょけ
＝そのままにしておきなさい
がまだす＝精を出す
きりさんよか＝容姿が美しい
くつとけえ＝来ますか？
くらする＝叩く
じゃつと＝そうだ
しかぶる＝もらう
せからしか＝うるさい
そがん＝その様に
てんげ＝手ぬぐい
どがしこ＝どれだけ
うんにゃ＝いいえ
はがいか＝腹立たしい
みぞか＝可愛い
よんにゅ＝たくさん
よかべべ＝晴れ着（よい着物）

「熊本県福岡ビジターセンター」は人々の憩いの場としても親しまれている。ゆっくりと訪れたい場所だ



苓北の自然・景観

美しい海に囲まれた半島の町

ハマユウ

夏になると福岡半島の海岸は、ハマユウのいい香りが漂う。白く群れ咲くハマユウは、ヒガンバナの仲間。苓北町の町花として親しまれている



苓北町の広さは東西に約10 km、南北に約12 kmで総面積は67 km²となっています。西は天草灘を臨み、北は千々石灘に面した美しい海に囲まれた町です。

細長く突き出た形をした福岡半島では、美しい砂丘が天然の良港を形成しており、昭和31年には「雲仙天草国立公園」の指定を受けました。約1.5 km程の細長く伸びた福岡

苓北の海辺の仲間たち

福岡半島には、熊本県指定の天然記念物・ハマジンチョウが群生しています。南方系の植物で九州中部に分布し、海水

に浸り、しづきがかかる浜辺に自生しています。またハマユウをはじめ、自然の植物が豊富で、のんびりと散策するのもおすすめです。

また、海の中には多彩な生物が棲んでおり、「福岡海域公園」は美しい魚たちやサンゴの世界が広がる「海の楽園」です。

「福岡海域公園」は学術的にも貴重な海域で、亜熱帯系の魚類・石サンゴ類などが豊富に生息する海の楽園だ



「四季咲岬公園」のランドマークは、真白な灯台。四季折々に咲き乱れる草花と紺碧の海を眺めながらの散策を楽しんで



苓北町温泉センター 麟泉(りんせん)の湯

MAP 15

こんこんと湧き出る天然の湯
天草の青い海を望み温泉三昧

天草灘に沈む夕陽を眺めながら、ゆったりと温泉三昧。東シナ海、富岡半島を一望できる大浴場や本格的なサウナ、電気風呂、家族風呂など設備も充実している。湯上りには、広々とした大広間でゆっくりと休んで、存分にリラクゼーションを満喫しよう。温泉の湯を持ち帰ることができるユニークな「温泉自動販売機」もあり、自宅で温泉気分を楽しみたい人に喜ばれている。

☎0969-35-3770

所／苓北町志岐1281 営／10:00～21:00

休／第1・3木曜(祝日の場合、翌日)

泉質／アルカリ性単純温泉 温泉自動販売機／1リットルにつき1円

効能／筋肉痛若しくは関節の慢性的な痛み又はこばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(不眠症・睡眠障害・うつ状況など)、病後回復期、疲労回復、健康増進

〈施設使用料〉※大人は高校生以上、小人は小・中学生。小学生未満は無料

入館料	一 般	大人	500円
		小人	250円
	回数券12枚綴り	大人	5,000円
		小人	2,500円
	バス券	6カ月	25,000円
		1年	45,000円
家族風呂	1室1時間あたり	入館料+500円	
	30分延長毎	300円	
休憩室 (和室10帖)	1室1時間あたり	1,000円	
	30分延長毎	500円	



苓北を遊ぶ

おっぱい岩

MAP 12

波と風が描くモダンアート?!
おっぱいがいっぱい。

国道324号沿いの浜辺に、干潮時にのみ姿を現す変形岩“おっぱい岩”。直径は約1.5m。直に触れば“胸が大きくなる”とか、“母乳がたくさん出るようになる”などの御利益も噂されている。

所／苓北町坂瀬川西川内宇赤崎地先(西川内漁港横)
期／通年
時／最大干潮の前後計4時間



ごろんと転がったおっぱい岩は、一説によると“ZZカップ”。まさに巨乳!

ハマジンチョウ群生地

潮風と打ち寄せる波
砂浜に咲く天然記念物。

富岡半島には、県指定天然記念物・ハマジンチョウが群生している。開花時期は1～3月、淡い紫色の可憐な花で人々の目を楽しませている。

ハマジンチョウ観賞地 MAP 13

所／苓北町富岡宇三四町(頼山陽公園)
期／1～3月
料／無料

県指定天然記念物



潮にさらされて咲く可憐な花は、その生命力の強さを感じさせてくれる

四季咲岬公園

MAP 14

灯台の向こうに広がる水平線
海に沈む夕陽を眺めよう。

富岡半島の先端にあり、この場所から望む天草灘の風景は、まさに絶景。ハマジンチョウやトベラ、ハマヒサカキ、ツバキ等の常緑照葉樹の矮性のもので被われており、突端には灯台(標高46m)もあり、9～12月には海に沈む夕陽を見ることができます。

所／苓北町富岡宇四季咲
期／通年
料／無料



その名の通り、四季折々に咲く自生の草花が見られます。

苓北町温泉プール

MAP 16



料金／(2時間)大人500円、小人250円、幼児150円

※団体、身体障害者は割引料金あり。
回数券、年間会員券あり

自然の恵み、温泉プール
いつでも快適スイミング。

「麟泉の湯」に隣接する天然温泉プール。25mコース、幼児用プールをはじめトレーニング室など、設備も充実。一年中スイミングが楽しめる。

問／苓北町温泉プール管理棟 ☎0969-35-3301

苓北町教育委員会 ☎0969-35-2111

所／苓北町志岐1259-3

営／(月～金曜)13:00～21:00 (土・日曜、祝日)10:00～21:00
休／第1・3水曜(祝日の場合、翌日)、12月31日、1月1日

志岐集会所

MAP 20



県産のスギなどで作ったスタイリッシュな空間。音響設備にこだわったホールで行われるライブも人気

人々が集うコミュニティの場
コンサートやイベントがいっぱい。

波のうねりを表現したデザインが印象的。アートボリス事業により建築、「くまもと県産材振興会賞」を受賞した。コンサートや発表会、イベントなど、楽しい催しがいっぱい。

日本建築学会賞受賞

☎0969-35-1324

問／志岐集会所

所／苓北町志岐445

発電所見学

要予約

MAP 19



料金／無料
※所要時間約1時間ガイド付

電気のチカラを再認識 エネルギーについて考えよう。

熊本県内の電力需要量の約3分の2を供給している火力発電所。大型タービンや発電機などの電気が出来る仕組みを見学できる。植物園、芝生広場、遊具施設も併設。

☎0969-35-2131

問／九州電力(株) 苓北発電所
所／苓北町年柄1091
休／土・日曜(予約がある場合は営業)
営／9:00～16:00

九州オルレ 天草・苓北コース



古城めぐりとサンセットライン

「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の方で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。自然豊かな済州島で、トレッキングする人が徐々に増え、「オルレ」はトレッキングコースの総称として呼ばれるようになり、今では韓国トレッキングの中心的コースになっています。

オルレの魅力は、海岸や山などを五感で感じ、自分のペースでゆっくりとコースを楽しむところにあります。

コース内の要所には「カンセ」と呼ばれる済州島の馬をモチーフにしたオブジェや青と赤のリボン、木製の矢印やペイントされた矢印などの標識を設置しています。目印に沿って歩きましょう。

オルレのマナー

- 1 民家の庭にみだりに入らない。
- 2 人や個人のを撮影するときは同意をもらう。
- 3 ゴミは必ず持ち帰る。
- 4 道沿いの農作物を勝手に採らない。
- 5 道端に咲いている花や木の枝を採らない。
- 6 民家付近などで大声で叫んだり、騒いだりしない。
- 7 次に訪れる人のために、リボンを持ち帰らない。
- 8 道案内の看板には触らない。
- 9 未舗装の道は、決まった経路を通る。
- 10 風景を楽しみながらゆっくりと歩く。
- 11 車道を歩くときは、車に気をつけて歩く。
- 12 コースから外れた急傾斜地などでの危険な行動は控える。
- 13 途中出会う旅行者や地元住民の方々と笑顔で挨拶を交わす。

☎0969-35-1111

問／苓北町役場商工観光課



矢印



赤と青のリボン



ペイント

難易度/中級

所要時間/4～5時間

コース/富岡港→富岡城(1.0km)
→権現山遊歩道(2.6km)→富岡海水浴場(4.5km)
→林美文学碑(5.3km)→富岡神社(6.0km)
→黒瀬製菓舗(6.4km)→吉利支丹供養碑(6.8km)
→白木尾海岸(7.2km)→志岐城跡(10.5km)
→温泉センター(11.0km)

ペーロン体験

要予約

太鼓に合わせて漕ぎだそう 伝統の船にチャレンジ!

苓北町が受け継いできた伝統のペーロンをあなたも漕ぐことができる。ペーロンとは中国語の「白龍(パイロン)」のこと。その歴史や漕ぎ方を学び、実際に船に挑戦しよう。

☎0969-35-1111

問／天草苓北ペーロン協会(苓北町役場商工観光課内)



毎年、「じやっと祭」で盛り上がるペーロン競漕。苓北に伝来したのはおよそ340年前という伝統を語る

内田皿山焼窯元 陶芸体験

要予約

MAP 21

世界最上級品質の天草陶石で 世界にたった一つだけの器をつくろう

素朴な民芸白磁の器をはじめ、暮らしの陶磁器など、手作りしてみよう。各種の器に好みの絵付けをして、世界に一つだけの作品を作ろう。

☎0969-35-0222

問／内田皿山焼
所／苓北町内田554-1
料／＜絵付け体験＞血650円～※別途送料



真珠体験

要予約

MAP 17

パールの輝きをその手に 思い出の一粒を取り出そう。

活きた真珠貝の中から、本物の真珠を取りだしてみよう。もちろん真珠は、表面処理をしてあなたのもとに。指輪に使える大型真珠(7～8mm)が出てくることも!

☎0969-37-0836

問／(有)苓北真珠
所／苓北町坂瀬川744-15



料金/1回 5,000円(ペンダント加工)
※表面処理・穴開けは無料

天草木場の杜自然学校

要予約

MAP 18

山村の小学校が今 体験交流施設に生まれ変わった。

旧木場小学校を利用して開設した体験交流施設。研修室をはじめ、陶芸を体験できる陶芸教室、農産加工を体験できる農産加工教室のほか、体育館、五右衛門風呂、宿泊施設などを利用できる。

☎0969-36-0809 FAX0969-36-0860

問／天草木場の杜自然学校
所／天草郡苓北町都呂々6118-2
料／炭焼き窯(1窯あたり)3,000円、体験プログラム500～1,500円など(※詳細は要問い合わせ)



宿泊施設では大人素泊まり3,000円で利用できる。寝具代は別途600円、食事なども応相談

内田皿山焼

MAP 21

幻の窯から生まれた古の美を
今に伝える伝統の技。

今なお数多くの古陶片が眠る幻の窯「古内田皿山窯」は、日本で2番目に古い窯跡だといわれる。出土した古陶片を再現した民芸白磁と伝統的な作風が人気の窯元だ。ベーシックな器から、天草更紗の図柄を復元したオブジェなど幅広い作品で、人々に愛され続けている。

☎0969-35-0222

所／苓北町内田554-1



富岡港船客待合所～きずなステーション～

MAP 22

苓北の味をまるごとお土産に。

2018年にリニューアルオープンした富岡港船客待合所。苓北町の特産品である海産物、農産物、陶磁器が一同に揃う。海産物セットやウニなど、全て産地価格でお買得。また、天草のお土産も充実しており家族、友人にいかがでしょうか。

☎0969-35-0705

問／苓北観光汽船株式会社

所／苓北町富岡2711-47



苓北の自然が育てた宝もの
新鮮な海の幸と
旬の山の幸をお土産に。

■ウニ・サザエ・天草天領アジ

☎0969-35-0050

問／天草漁業協同組合苓北支所

■緋扇貝(10月～4月)

天領岩カキ(4月～8月上旬)

☎0969-35-2377

問／福島水産(株)

☎0969-35-2488

問／(株)浜崎水産

■真珠

☎0969-37-0836

問／(有)苓北真珠

■レタス・みかん

☎0969-35-1441

問／苓北町農業協同組合



天領岩ガキ

～夏の巨大な海のミルク～

「夏ガキ」とも言われる苓北町の特産品。マガキの4～5倍はある巨大な身をお刺身、蒸しガキ、カキフライなどで提供しています。

期／4月～8月上旬

要予約



天草ちゃんぽん札所

～個性あふれる味わい～

「おいしいちゃんぽんは長崎だけじゃない!」海の恵みをたっぷりと盛り込んだちゃんぽんが人気。苓北町には9軒の「天草ちゃんぽん札所」があり、個性あふれるちゃんぽんを味わっていただけます。

お食事処名称	電話番号	定休日
天草洋	35-0007	不定
サンミカド	35-1154	不定
ちゃんぽん明月	35-0210	月曜
味千ラーメン苓北店	37-1043	木曜
焼き肉の三福園	35-2666	不定
いそなみ食堂	35-0205	日曜・祝日
いさりび	37-0541	不定
お食事処 いこい	35-1014	不定
一力	35-1425	不定
酔処 泰	35-1145	火曜
カフェレストランクッティハウス	35-0484	日曜
千里十里	35-2312	不定
味の店 ふじ	35-1794	不定

天草ちゃんぽん札所 岩ガキ提供店 緋扇貝提供店

海の幸を食す

緋扇貝

～海の幸を食べる～

苓北町の特産品・緋扇貝を使い、刺身・フライ・焼き物などバラエティに富んだメニューが並ぶ人気の御膳。緋扇貝の色彩とともに、目と舌を存分に楽しませてくれます。地魚の刺身をグラスした「緋扇御膳」もおすすめ。

期／10～3月

要予約



※市外局番 (0969)

お食事処名称	電話番号	定休日
にしきラーメン	35-0827	不定
洋食屋 ガルニ	35-1878	火曜
馳走 ほりもと	37-1708	不定
苓北給食センター	35-1783	不定
かどや	35-0163	不定
お食事処 四季咲	35-3533	不定
CAFE IROHA	37-0013	月曜
よし田	35-1228	不定
りゅう	37-1011	木曜
食事処 大黒屋	35-0033	不定
E.Kitchen	31-1047	火曜
海の見える café ひかり	37-0622	月曜

農家民宿錦戸



家庭的な雰囲気での
おもてなしの宿。

天草の新鮮な海の幸、自家農園で栽培したとれたての野菜をお楽しみください。農作業体験も受け付けています。お問い合わせください。

☎0969-36-0555

✉ brocade9@mail.goo.ne.jp

所／苓北町都呂々127-5

定員／12名(和室5室)

料／〈一泊二食〉8,000円～

〈一泊朝食〉6,000円～

〈素泊まり〉4,500円～

あまくさ温泉ホテル 四季咲館

四季折々の多彩な旬の恵みに
季節のささやきを聞く。

ホテルの眼前には柔らかな砂質と透明度に優れた富岡海水浴場があり、展望温泉「夕映えの湯」から眺める天草灘に沈む夕日は絶景です。

☎0969-35-3533

✉ info@hotel-shikisakikan.jp

所／苓北町富岡2403

定員／66名

(シングル30室・ツイン4室・和室10畳7室)

料／〈一泊二食〉10,670円～

〈一泊朝食〉6,050円～

〈素泊まり〉5,170円～



海辺の宿 旅館花月



海辺に佇むおしゃれな宿で
ゆったりと過ごす休日を。

目の前に広がる富岡海水浴場。心のコもったおもてなしで、お寛ぎください。

☎0969-35-2121

FAX0969-35-2156

所／天草郡苓北町富岡2459

定員／39名(和室12室)

料／〈一泊二食〉5,500円～

〈一泊朝食〉4,320円～

〈素泊まり〉3,780円～

雀の宿古門丁

心置きなく過ごす宿は
まるで故郷のように温かい。

低料金で気楽に利用できる宿です。

☎0969-36-0111

所／天草郡苓北町都呂々920

定員／8名(和室3室)

料／〈一泊二食〉要相談

〈一泊朝食〉要相談

〈素泊まり〉3,500円



民宿大漁丸



漁師の手料理を存分に
活き魚のおいしさを愉しむ。

漁師の宿ならではの獲れたての海の幸。漁師自ら腕をふるう手料理をどうぞ。

☎0969-35-1525

✉ amakusa.taifyoumaru@gmail.com

所／天草郡苓北町富岡2700-1

定員／35名(ツイン1室・和室11室)

料／〈一泊二食〉9,900円～

〈一泊朝食〉5,500円～

〈素泊まり〉4,400円～

旅館海舟

ただいまと言いたくなる
心づくしのもてなしの宿。

水平線を眼下に望む宿。閑静な佇まいで、旬の海の幸を存分にお楽しみください。9月上旬～12月には海に沈む夕陽が見られます。

☎0969-35-0751

所／天草郡苓北町富岡2034-5

定員／40名(和室17室)

料／〈一泊二食〉7,000円～

〈一泊朝食〉5,500円～

〈素泊まり〉4,500円～



ぐるり天草図記録

苓北町の周辺にも
楽しいスポットがいっぱい!
自由気ままに
“天草ドライブ”を楽しもう。

カッパ街道。

カッパ伝説のある栖本。県道34号線沿いには22体ものカッパの石像が並んで迎えてくれるよ。

所ノ県道34号

でっかいな〜!!

ギネスも認定している「大えびす像」。倉岳が鯛釣り有名なのは守り神のおかげかな。

所ノえびす公園・えびす茶屋

恐竜発見!!

ハンマーを持っていざ恐竜の足跡探し!なんだか気分はドキドキ。あつ!あれはもしや!

問ノ白亜紀資料館
TEL 0969・67・2325

のんびりぬくぬく。

ペパーミント蒸し風呂、薬草気泡湯、露天風呂など個性的な風呂ばかり。極楽、こらく〜!

問ノやすらぎの湯
TEL 0969・72・6666



イルカに
会いにいこう。
船に追走するように、泳ぐイルカたち。その姿がとても楽しそうに見えるから、何だかうれしくなっちゃう♪

絶景
天草西海岸!!

海に沈む夕日ははじめて見た。
感動で涙が出そうになったよ。
すごい贅沢をした気分。



う〜ん
ロマンチック♪

ひとときわ目を引く真っ白な建物は青空に書かれた絵画みたい。春はお花が咲き乱れてキレイ。

問ノ大江天主堂
TEL 0969・42・1111
(天草市天草支所)



静かな祈りの教会。

民家の中に静かに佇む教会。花嫁のバージンロードが路地から始まるなんてステキ。

問ノ崎津天主堂
TEL 0969・76・1111
(天草市河浦支所)



苓北町を地元ガイド

地元住民のボランティアガイドによる観光案内は、そこに住んでいるひとならではの
のおもしろい話、興味深い話
が聞けるのでおすすめです。



案内コースⅠ 所要時間：1時間
富岡城内の島原・天草一揆の痕跡や、富岡城から見る風景について説明します。

二の丸駐車場 → 坂道(塹壕等) → 二の丸石垣の跡 → 箱勢籠・埋門 → 4人の銅像 → 二の丸から本丸へ登る石段 → 富岡の風景 → 百間土手 → 袋池伝説

案内コースⅡ 所要時間：2時間
富岡城とその周辺の築造当時の石垣がそのまま残っている百間土手や、福者に列せられたアダム荒川殉教地などを巡ります。

富岡港 → 五足の靴上陸地点 → 上町・下町・勢溜 → 百間土手 → 旧大手門 → 三の丸 → 米倉 → 二の丸 → 4人の銅像 → 風景 → ビジターセンター → 二の丸石垣 → 二の丸駐車場(売店・食堂) → アダム荒川 → 富岡港

案内コースⅢ 所要時間：3時間
富岡の城下町や、頼山陽や勝海舟などの足跡や千人塚を巡ります。

富岡港 → 五足の靴上陸地点 → 三文字屋 → 泉屋跡(頼山陽宿泊の地跡) → 大手門と堀切 → 松本久太郎別宅 → 岡野屋(林芙美子文学碑) → 瑞林寺 → 富岡神社 → 鈴木重成公供養碑 → 新地砲台 → 加藤神社 → 千人塚 → 高橋喜惣勝 → 頼山陽公園 → 西海岸 → 鎮道寺 → 富岡港

※観光ガイドは有料です。
1.【1時間コース】5人まで料金1,000円(以降、1人増すごとに100円増)。小学生は半額。
2.【2時間及び3時間コース】5人まで料金2,000円(以降、1人増すごとに200円増)。

お申込み お問い合わせ
TEL 0969-35-1111(苓北町役場)
H P https://kankou.reihoku-kumamoto.jp/tourist_11.html



お食事 ☺天草ちゃんぽん礼所

名 称	電話番号	オススメのメニュー	定休日
天草洋	35-0007	刺身定食	不定
サンミカド	35-1154	ハンバーグ定食	不定
ちゃんぽん明月	35-0210	ちゃんぽん	月曜
味千ラーメン苓北店	37-1043	スペシャル苓北ラーメン	木曜
焼肉の三福園	35-2666	特選和牛ロース	不定
いそなみ食堂	35-0205	魚フライ定食	日祝
いさりび	37-0541	レタスちゃんぽん	不定
お食事処 いとこい	35-1014	ちゃんぽん	不定
ーカ	35-1425	焼肉定食	不定
酢処 泰	35-1145	やきとり	火曜
カフェレストランウッティナーハウス	35-0484	オムカレー(オムライスカレー)	日曜
にしきラーメン	35-0827	野菜ラーメン	不定
洋食屋 カルニ	35-1878	ハンバーグランチ	火曜
馳走 ほうもと	37-1708	点心	不定
苓北給食センター	35-1783	弁当各種	不定
かどや	35-0163	かどやちゃんぽん	不定
千里十里	35-2312	コース料理(要予約)	不定
よし田	35-1228	コース料理(要予約)・ヤキトリ	不定
味の店 ふじ	35-1794	カレーうどん	不定
お食事処 四季咲	35-3533	コース料理(要予約)	不定
CAFE IPOHA	37-0013	ボークの粒マスタード&トースト・スグリル	月曜
りゅう	37-1177	鶏麵	木曜
食事処 大黒屋	35-0033	トルコライス	不定
E Kitchen	31-1047	ホットドッグ	火曜
海の見える café ひかり	37-0622	ランチメニュー	月曜

土産店

名 称	電話番号	商 品 紹 介
黒瀬製菓舗	35-0119	どらやき、柿大塚、カステラ
(有) 黒瀬海産	35-0037	富岡名産粒ウニ(70g)、塩わかめ、アオサ、てんぐさ、各種海藻
(有) 本川海産食品	35-0068	富岡城醤油(にがり配合)発売元
天草漁協苓北支所	35-0050	塩蔵ワカメ、乾海藻サラダ、ヒジキ
富岡港船客待合所	35-0705	甘塩ウニ(110g・通年)、活サザエ(1.5kg)
海の見える café ひかり	37-0622	天草観光みやげ品、ケーキ、天草の塩を使ったスイーツ

名 称	電話番号
内田皿山 焼 窯 元	35-0222
夢 幻 窯	35-0940
工 房 風	35-2041
雲 丹 窯	35-0945
天 竺 窯	36-0860

宿泊

名 称	電話番号	一泊二食	一泊朝食	素泊まり	収容人員	特 徴
旅館 海舟	35-0751	7,000円～	5,500円～	4,500円～	40名	水平線を眼下に見下ろす人里離れた閑静な佇まい
海辺の宿 旅館 花月	35-2121	5,500円～	4,320円～	3,780円～	39名	目前に海水浴場あり。心のこもったおもてなし
民宿 大漁丸	35-1525	9,900円～	5,550円～	4,400円～	35名	漁師の宿、とれたての海の幸。漁師の手料理に舌鼓
雀の宿 古門丁	36-0111	要 相 談	要 相 談	3,500円	8名	心置きなく過ごす宿はまるで故郷のように温かい
あまご温泉ホテル四季咲	35-3533	10,670円～	6,050円～	5,170円～	66名	富岡海水浴場に隣接した全室オーシャンビューの宿
農家民宿 錦戸	36-0555	8,000円～	6,000円～	4,500円～	12名	天草の新鮮な海の幸と自家農園で栽培したとれたて野菜
天草本場の大自然学校	36-0809	5,000円～	3,500円～	3,000円～	18名	旧木場小学校を利用して開設した体験交流施設

※研修宿泊については、苓北町総合センター(☎35-2112)、苓北町老人福祉センター(☎35-1280) も利用できます。

※運行ダイヤは時期により変更します。ご利用の際は、お問い合わせ先でご確認ください。 ※掲載の内容は2020年3月現在のものです

●苓北観光汽船(株) (高速船)

富岡 ⇄ 45分 ⇄ 茂木

時刻表					
茂木港発		富岡港着	便	富岡港発	茂木港着
8:10		8:55	1	7:10	7:55
10:20		11:05	2	9:15	10:00
14:45		15:30	3	13:40	14:25
17:00		17:45	4	15:55	16:40

運賃表	種 類	大 人	小 人
片 道	運 賃	2,030円	1,020円
往 復	切 符	3,860円	1,930円
学生割引(中学生以上)※1		1,830円	—
団体割引(15名以上)		1,830円	920円
障がい者割引※2		1,020円	510円

◎未成年児は大人1名につき1名無料、2人目から小人料金。
◎往復切符の有効期間は発行日より30日
※1 学生証をご提示ください。
※2 障がい者割引の適用には、障がい者手帳の提示が必要です。

イルカウォッチング(予約のみ運航)

●お問い合わせ先 苓北観光汽船(株) ☎0969-35-0705(富岡港)

●島鉄フェリー

鬼池 ⇄ 30分 ⇄ 口之津

【お問い合わせ】鬼 池／☎0969-32-1727
口之津／☎0957-86-2165

●三和フェリー

牛深 ⇄ 30分 ⇄ 蔵之元

【お問い合わせ】牛 深／☎0969-72-3807
蔵之元／☎0996-88-5689

●天草エアライン

天草 ⇄ 35分 ⇄ 福岡
熊本 ⇄ 95分 ⇄ 大阪
天草 ⇄ 25分 ⇄ 熊本

【お問い合わせ】天草エアライン予約センター
☎0969-34-1515 URL <https://www.amx.co.jp/>



苓北町観光のお問い合わせ

■苓北町役場 商工観光課

〒863-2503 熊本県天草郡苓北町志岐660 □平日8:30～17:15
TEL 0969-35-1111 FAX 0969-35-1197
URL <https://reihoku-kumamoto.jp/>

■苓北町観光協会（苓北町役場 商工観光課内）

Facebookご利用の方は

■苓北町観光案内所（富岡港内）

TEL 0969-31-1136 □8:45～16:45

天草各地の観光に関するお問い合わせ

■（一社）天草宝島観光協会

TEL 0969-22-2243
URL <https://www.t-island.jp>

■（一社）天草四郎観光協会

TEL 0964-56-5602
URL <https://kami-amakusa.jp>

